



ナス編

病害虫注意報 2019年12月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

厳寒期の管理に注意しましょう!



すすかび病

表

裏

症状

- ▶ 葉の裏面に白っぽいカビが固まったような小斑点を生じる
- ▶ 病斑部のカビは灰褐色～すす状に変わる
- ▶ 葉の表面の病斑は淡黄褐色～褐色となる

多発条件・対策

- ▶ ハウスの温度が23～28℃で湿度が高いと多発する
- ▶ 地表面はマルチし、残渣や発病葉はハウス外に処分する
- ▶ 風通しを良くし、過繁茂を避ける



灰色かび病

※画像はトマトです

症状

- ▶ 葉・葉柄・茎は褐色～暗褐色の病斑部に灰色のかびを生じる
- ▶ 果実ではまず咲き終わった花弁にカビを生じ、果実部分に茶褐色水浸状の病斑を生じ、病斑部に灰色のかびを密生する

多発条件・対策

- ▶ 施設栽培の晩秋から春の20℃前後・多湿条件で多発
- ▶ 朝夕の急激な冷え込みは発生を著しく助長する
- ▶ 早朝加温・換気・マルチなどが湿度低下に有効

今月のおすすめローテーション

スワルスキーカブリダニを放飼する場合は薬剤の選択に注意しましょう!

| 時期 | 対象病害虫 | 薬剤名 | 倍率 | 使用時期 | 回数 | 影響日数 | | |
|------|---|-------------------------|-------------------------------|------|-----------------|------|-------|--------|
| | | | | | | ミツバチ | マルハ | スワルスキー |
| 12月① | 灰色かび病 | 予 ロブラール500アクア | 1,000～1,500倍 | 前日 | 4回 | 1日 | 1日 | 7日 |
| | アブラムシ類・カメムシ類・コナジラミ類 ハダニ類・アザミヤカ類・テントウムシダマシ類 ミナキイロアザミヤカ | ダントツ水溶剤 | 2,000～4,000倍 (カメムシ類2,000倍) | 前日 | 3回 | 25日 | 15日以上 | 7日 |
| 12月② | うどんこ病・すすかび病 灰色かび病 | 予 ベルコート水和剤 | 3,000倍 | 前日 | 3回 | 1日 | 0日 | 0日 |
| | コナジラミ類・アザミヤカ類・ハダニ類 | アグリメック | 500～1,000倍 | 前日 | 3回 | 14日 | 7日 | 7日 |
| 12月③ | 菌核病・すすかび病 灰色かび病 | 予・治 カンタスドライフロアブル | 1,000～1,500倍 | 前日 | 3回 [※] | 1日 | 0日 | 0日 |
| | アブラムシ類・ミナキイロアザミヤカ ハダニ類・ハスモンヨトウ | アーデント水和剤 | 1,000倍 | 前日 | 4回 | 3日 | 3日 | 60日以上 |

※シグナムWDGとの使用回数注意

ダニコング
フロアブル

登録拡大されています!
新規有効成分が
ハダニをパワフルに撃退!!

ナス登録
ハダニ類 3,000倍
前日まで/1回

厳寒期対策おすすめ資材

光合成能力UP! 植物本来の力を活性化!

ファイトオーツ&ファイトマジック
1,000倍 葉面散布

植物本来の力を活性化☆
▶ 光合成の促進
▶ 毛細根の充実
▶ 抵抗性誘導物質の向上

キレートマグネシウム
+各種微量元素
★葉にテリ・ツヤ・厚みUP!
★日照不良時の代謝の向上!

アルカリ性農薬、石灰硫黄合剤、アゾキシストロビン剤(アミスター)、クレソキシムメチル剤(ストロビー)、無機銅剤、ホルモン剤、液肥類との混用はさけてください

肥料登録 生第83241号
肥料登録 生第87201号